

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	運動と神経のしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	前期	教室名	203,202
担 当 教 員	勝木 翔平	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
体を支え(骨格系)動かす(筋系)しくみの基本について理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】終講試験100% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版						
《授業外における学習方法》						
教科書の該当ページを事前に熟読し、また、関連動画がある場合は視聴する。 骨・筋肉の名称について繰り返し復習し確実に覚える。						
《履修に当たっての留意点》						
筋骨格、運動に関連する機能の正常な働きについて学ぶ。本科目で学習する内容は、ボディメカニクス、病態治療Ⅲや各看護学の展開を考える土台となる。						
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第1回	授業を通じての到達目標	骨と骨格の総論について理解する	テキスト プロジェクター マイク 筋骨格模型	予習を行い主体的に授業に参加し、学んだことはその日のうちに必ず復習し理解につなげる。		
	各コマにおける授業予定	1)骨格系の機能 2)カルシウム代謝と骨の役割 3)骨芽細胞と破骨細胞の働き				
第2回	授業を通じての到達目標	頭蓋、体幹の骨格について理解する	テキスト プロジェクター マイク 筋骨格模型	予習を行い主体的に授業に参加し、学んだことはその日のうちに必ず復習し理解につなげる。		
	各コマにおける授業予定	1)頭蓋の骨の名称 2)泉門について 3)脊柱を構成する椎骨の名称 4)椎間板の働き				
第3回	授業を通じての到達目標	体肢の骨格について理解する	テキスト プロジェクター マイク 筋骨格模型	予習を行い主体的に授業に参加し、学んだことはその日のうちに必ず復習し理解につなげる。		
	各コマにおける授業予定	1)上肢と下肢の骨の名称 2)骨盤の形の性差				
第4回	授業を通じての到達目標	関節の構造と種類について理解する	テキスト プロジェクター マイク 筋骨格模型	予習を行い主体的に授業に参加し、学んだことはその日のうちに必ず復習し理解につなげる。		
	各コマにおける授業予定	1)関節の名称 2)屈曲、伸展、外転、内転、回内、回外				
第5回	授業を通じての到達目標	筋肉の種類と機能について理解する	テキスト プロジェクター マイク 筋骨格模型	予習を行い主体的に授業に参加し、学んだことはその日のうちに必ず復習し理解につなげる。		
	各コマにおける授業予定	1)骨格筋、心筋、平滑筋の特徴 2)各筋組織が存在する部位				
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		

第6回	授業を通じての到達目標	筋肉の機能について理解する	テキスト プロジェクター マイク 筋骨格模型	予習を行い主体的に授業に参加し、学んだことはその日のうちに必ず復習し理解につなげる。
	各コマにおける授業予定	1) 骨格筋の収縮に関連する活動電位、等張性・等尺性収縮 2) 神経筋接合部とアセチルコリンの作用		
第7回	授業を通じての到達目標	骨格筋の名称と働きについて理解する	テキスト プロジェクター マイク 筋骨格模型	予習を行い主体的に授業に参加し、学んだことはその日のうちに必ず復習し理解につなげる。
	各コマにおける授業予定	1) 身体の運動と骨格筋 2) 顔面、頸部、背部、胸部、横隔膜、腹部、上肢、下肢の筋		
第8回	授業を通じての到達目標	まとめ	テキスト プロジェクター マイク	
	各コマにおける授業予定	まとめ＋終講試験		